



「2020 T D M推進プロジェクト」 説明資料

**東京2020大会の円滑な大会運営/輸送の実現と、
経済活動の維持との両立を図るため、
交通需要を抑制する取組**

**東京都・内閣官房・東京2020組織委員会が
事務局となり進める東京2020大会に向けた取組**

2020TDM推進プロジェクト

2020 TDM推進プロジェクトの概要

2020TDM推進プロジェクト（事務局：東京都、内閣官房、東京2020組織委員会）

1. 東京2020公認プログラムを活用した取組

1) TDMを推進する業界団体の輪を広げる

経団連、日商、東商、経済同友会、経済界協議会のほか、運輸・港湾、バス・鉄道、流通、小売、製造等の様々な業界団体の参画を拡大していく。



2) 業界団体によるTDM推進と所属企業への取組促進

（取組例）

- ・取組を掲げる（全会員に周知する/会員企業のテレワーク率を〇%にする等）
- ・会員向けセミナーを開催する
- ・公認プログラムマークを活用した機運醸成
- ・2020アクションプラン（企業の行動計画）の手引きの作成 等

2. 企業の参画を促す取組

1) 事務局

- ・TDMの取組に協力していただける企業を募集し、HP等で登録を受付
- ・大会時の混雑見通しなどの情報提供
- ・企業側からの質問事項の受付
- ・取組の好事例の紹介
- ・参加企業へのアンケートの実施 等

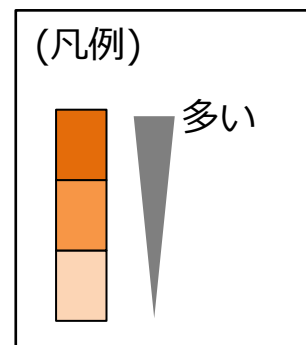
2) 登録した企業

- ・大会時の混雑の見通し等、大会運営情報を適宜受け取れる
- ・TDMプロジェクト運営側と直接やり取りができ、自社活動への影響の見通しや対策が立てやすい
- ・メールマガジン、セミナー、相談会の開催案内が随時配信される

選手と観客等の移動が多くなると想定される期間（平日）

2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23 海の日	24 オリンピック 開会式 25 スポーツ の日	25
26	27	28	29	30	31	8/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 パラリンピック 開会式	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5
6 パラリンピック 閉会式	7	8	9	10	11	12



※2020年から体育の日はスポーツの日に名称変更

※一般交通を加味したものではない。

※パラリンピックについては、スケジュールが未定のため、後日策定予定

TDMの必要性和目標

- ・大会関係車両や観客の交通需要の影響により、道路、鉄道共に混雑が深刻化

(目標)

- ・道路交通は休日並みの交通環境を目指す
- ・鉄道は現在と同程度のサービスレベルを目指す

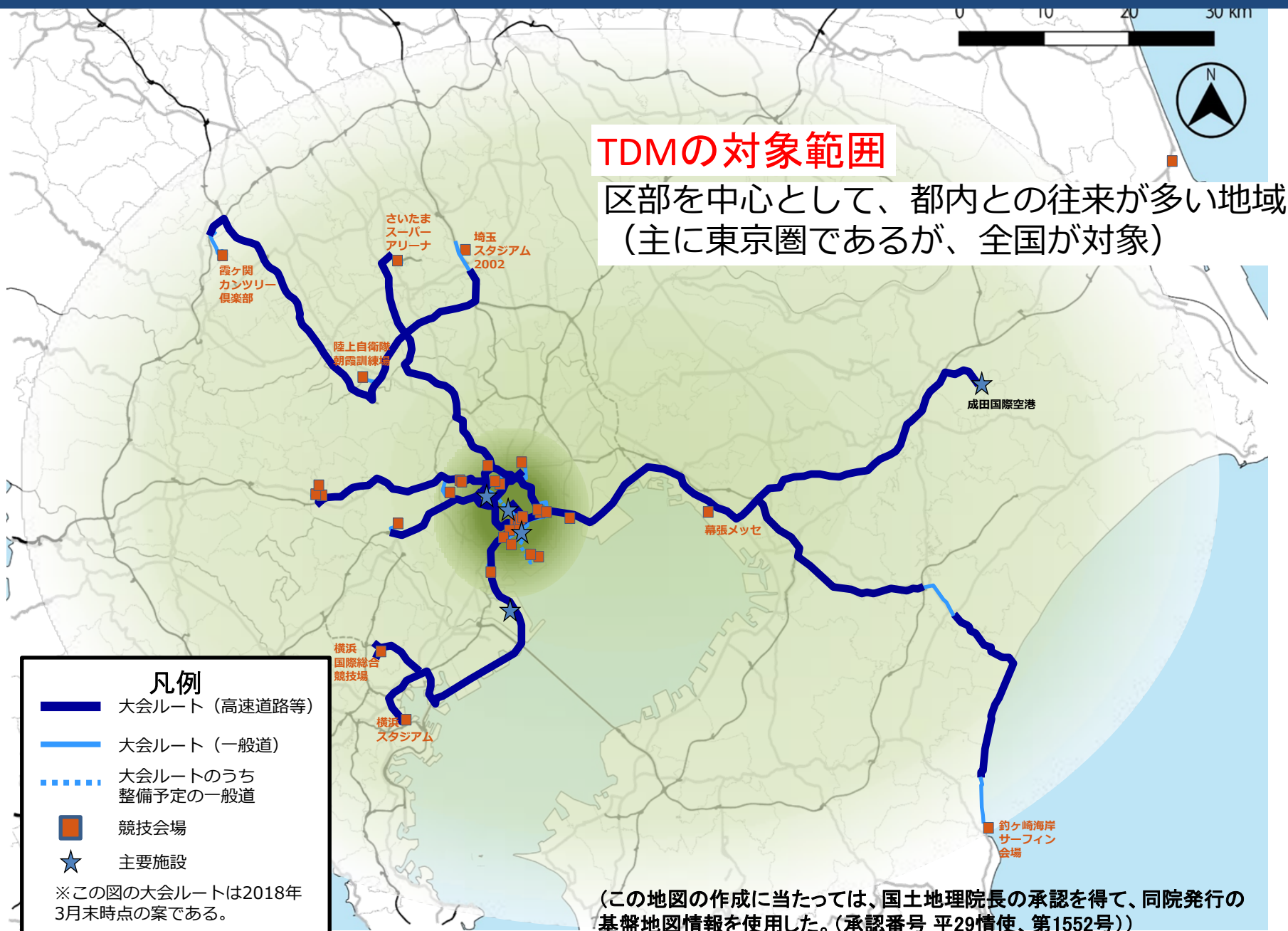
道路交通では、平日の15%程度交通量減（休日並み）の良好な交通環境の実現を目指す。このため、継続的に一般交通を抑制し交通量全体を大会前の10%程度減とするとともに、部分的に更なる分散・抑制を図る。

公共交通（鉄道）は、局所的な混雑への対応などにより、現状と同程度の安全で円滑な運行状況を目指す。



広く、企業や個人の皆さまから、
少しずつご協力いただき、交通量を減らすことが重要

主に協力いただきたい範囲（東京圏）



※この地図は2018年3月末時点のものである。

7/31 (金) 臨海部の例



- ・ **会場を目指す観客**により通常時に比べ**混雑**

- りんかい線、京葉線、有楽町線、ゆりかもめなどで更なる混雑が発生する見込み

【混雑が想定される時間帯】

＜朝＞ 8:00～9:00

＜昼＞ 13:00～14:00

＜夕＞ 17:00～18:00

- ・大会関係車両により通常時と比べ混雑

【混雑が想定される時間帯】

＜朝＞ 6:30～7:30

＜昼＞ 11:30～12:30

＜夕＞ 15:30～16:30

 大会ルート（高速道路）
 上段：競技会場
 下段：2020.7.31の競技時間

 大会ルート（一般道）

 大会ルートのうち
整備予定の一般道

 主要施設

※この地図は2018年3月末時点のものである。

(この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1552号))

混雑回避の取組準備の視点

大会輸送と経済活動との両立のため、
混雑を避ける準備をお願いします！

【人の流れ】 雇用主の理解と行動が必要

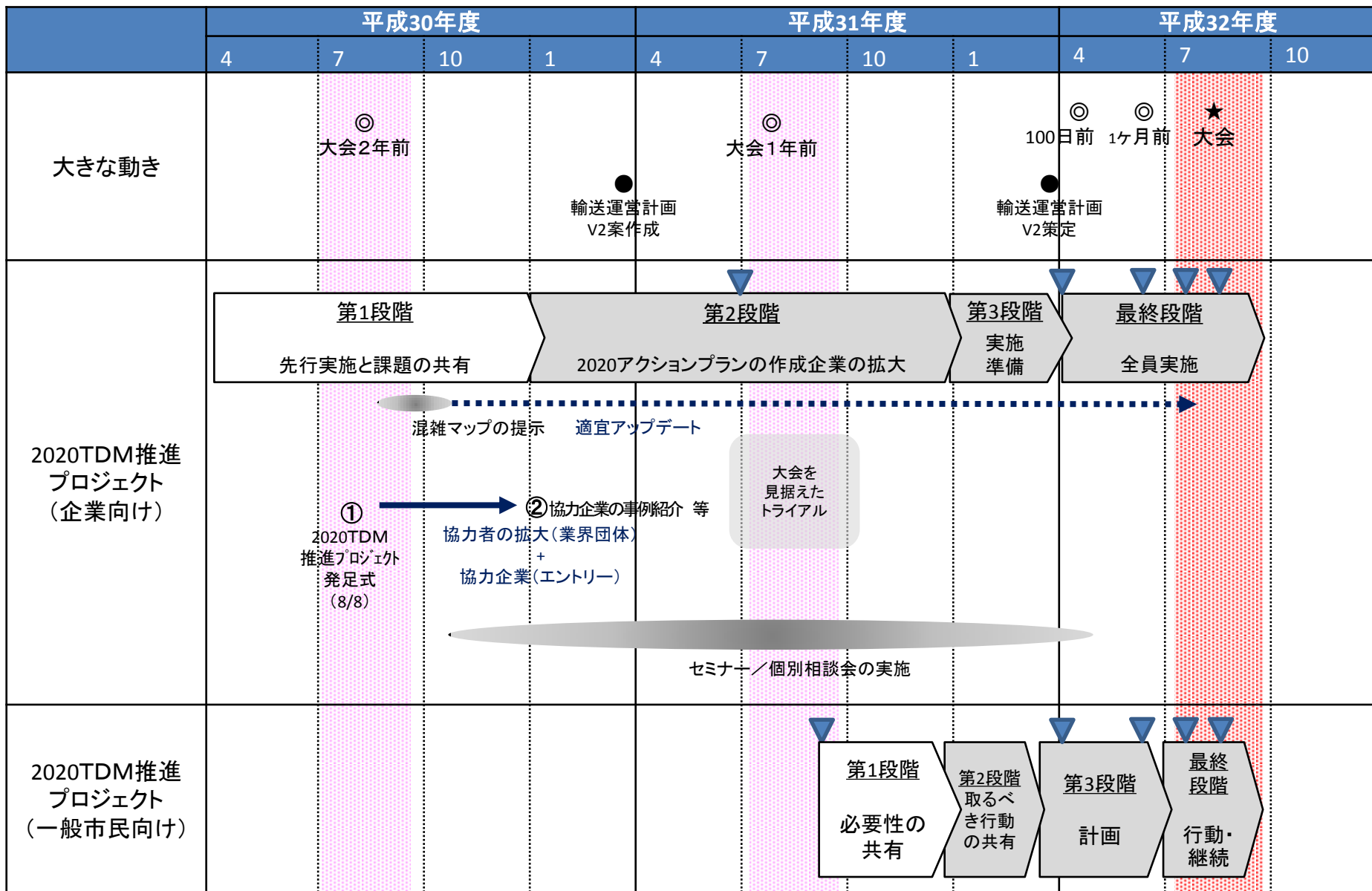
- ⇒ 制度整備など企業の皆さまの協力が必要
- ⇒ 協力機運を盛り上げて、次のような取組を！
時差ビズ、テレワーク、夏期休暇 等

【物の流れ】 荷主の理解と行動が必要

- ⇒ サプライチェーン全体での協力が必要
- ⇒ 発/着荷主が一体となり、次のような取組を！
配送の時間変更、ルートの変更 等

今後のスケジュール

区部を中心として、都内との往来が多い地域（主に東京圏であるが、全国が対象）に展開



働き方改革や
快適通勤環境づくり
の取組との連携

主に区部や大会会場周辺に立地する企業への呼びかけ

テレワークの推進

「テレワーク・デイズ(主催:総務省・経済産業省)」への参画呼びかけの協力

時差出勤の推進

「時差Biz」への参画、時差出勤/フレックスなどの導入呼びかけ

大会期間の周知

「みんなでラジオ体操プロジェクト」の活動と併せて、TDMへの協力を呼びかけ

イベント等による
交通の影響把握

大規模集客イベント(例:花火大会)等における観客参集状況や周辺交通への影響の把握

大会時の混雑を
想定した
行動計画づくり
(2020アクション
プラン)

「大会期間中の行動計画」のひな形づくり/プラン例の作成

時差出勤、テレワークなどの実施状況、導入成功に向けたナレッジの
とりまとめ

大会時の混雑予測マップの作成

夏の混雑時期における車利用の際の時間変更などの呼びかけ

1. 参画プログラム活用狙い

- 東京2020大会時の交通混雑を見据えたTDMの準備を企業や市民に呼び掛けるにあたり、TDMの取組の認知度向上と機運醸成を図る
- 公認プログラムとして、主催者である東京都、内閣官房、東京2020組織委員会及び協力者である経済団体等が連携してTDMムーブメントを推進

2. 参画プログラムの概要

東京2020参画プログラム

東京2020 公認プログラム

- 各省庁、開催都市、スポンサー、JOC、JPC、会場関連自治体、大会放送権者、が実施
- 公認事業としての位置づけ

東京2020 応援プログラム

- 非営利団体等が実施
- アクションの裾野を広げ、多くの人々が参画できることを目指す

スポーツ・健康

街づくり

持続可能性

文化

教育

経済・
テクノロジー

復興

オールジャパン・
世界への発信

公認プログラム

TOKYO 2020
応援プログラム

3. 参考【既存の事例】

- ① スポーツ de 障がい者交流会2017
<目黒区>
- ② 親子で作る型染め鯉のぼり・なんだろう！このアート展<町田市>
- ③ 4K徳島国際映画祭
<とくしま4Kフォーラム実行委員会
(徳島県ほか)・神山町>
- ④ ふくしまからはじめよう。「地域の
たから」民族芸能継承事業
<福島県・ふるさとの祭り実行委員会>
- ⑤ 花の心ハンギングバスケット里親制度
<台東区>